

しないから起る弊で、勅語の文面に十分明かに見えなくとも、他の御製なり詔勅なり日本在來の文化から考へたならば、疑を狭む餘地は無いのであります。寧ろ宇宙の法則を遵奉せざるは勅語の聖旨に反く者なりと解釋して少しも差支ないと思ふ。

#### 四、人間本性律

それから第四には人間本性律であります。これも倫理の根柢、思想の根柢として大事なことで、前にも申した通りに孟子は生涯性善を力説した、佛教に於ては「悉有佛性」を高調し、人間に皆悉く佛性の有ることを論證しなければ一切の教義は立たぬとまで言つて居る。又日本に於ても和魂といひ、大和魂といひ——大和魂が腐つては大變だ、和魂を發揮しなければならぬといつて、國民性は立派だと説くのである。「日本の國民性は劣等なものだ、表面を粉飾して置け」といふ事であつたならば、逆も日本の興立を期することは出来ない。「大和民族の本性は斯の如く立派なものである、故は今

は墮落して居るけれども、それは未だ本性を發揮して居らぬからである」と言はれた時そこに反省がなければならぬ。それを模れた性質の出た時に、「尤もぢや／＼、他の奴は偽つて銀紙を貼つて居るので、正直に行けばお前の通りぢや」といふやうな工合に、墮落を認めたらばどうなるか。所が西洋の文明はこれを認めるのである、近頃の「偽らざる告白」を讀んで御覧なさい、劣等な考の浮んだのを、耻づる所もなく書立て、居る、淫靡な考を慮面もなく言うて居るのである。東洋に於ては仁義禮智を本性として、人は禮を破ることを恥とする、所が近來はこれを虚飾だと言ふのである、東洋では「鼠すら皮あり。人にして禮なからんや」と言つて居るが、それを西洋では素つ裸の女を澤山書いて、これが文藝ぢや、美術ぢやといつて、お臀の描き方などを研究して、お臀を眺めて居る、さうして解つたやうな顔をして褒めて居るけれども、どうもあゝいふ文藝、美術は決して高等な思想ではないと考へる、やはり東洋の思想のやうに人間の本性は仁義禮智を以て本とし、そこに明德があり、佛性がある、